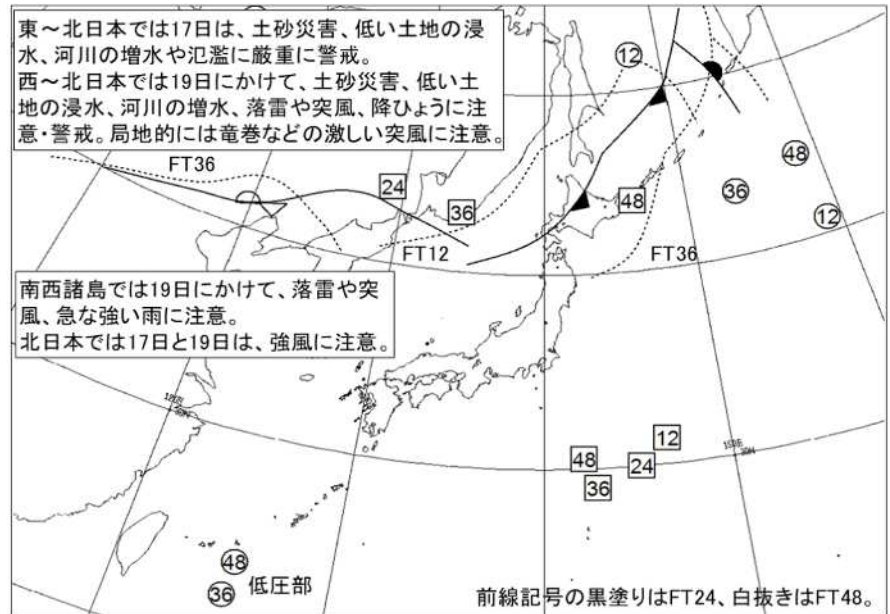


1. 実況上の着目点

- ① 前線を伴った低気圧がサハリン付近にあって、東北東進。日本海北部で雷を検知。
- ② 500hPa5940m以上の上空の高気圧が東シナ海付近にあって、ほとんど停滞。また、地上では太平洋高気圧が日本のはるか東にあって、ゆっくり東南東へ移動。日本付近は高気圧に覆われ、全国的に広く晴れている。一方、南西諸島と西～東日本の太平洋側では、高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となっており、局地的に雷を検知し激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

- ③ 300hPaで-33℃以下の寒気を伴う上空寒冷低気圧(UCL)が日本の南にあって、西進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、オホーツク海を北東進、寒冷前線が18日にかけて北日本を通過する。また、500hPa5760m付近で-9℃以下の寒気を伴うトラフが北日本を通過する。さらに、19日は別の前線を伴った低気圧が、中国東北区から日本海北部へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気や、上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。北日本では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、19日にかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなるため、北日本では17日と19日は、強風に注意。
- ② 1項②の太平洋高気圧は、19日にかけて日本の東付近に停滞。本州付近は高気圧に覆われ、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意(熱中症警戒アラート参照)。また、気温の上昇や高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。東日本では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。西～東日本では19日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項③のUCLは、18日にかけて沖縄地方に進む。また、18日朝までに低圧部が沖縄の南で発生して北上する。上空寒気や低圧部周辺と2項②の高気圧縁辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。南西諸島では19日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：北海道120、九州北部100mm。

② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。

③ 高潮(明日まで)：西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。